

20 五十人山の地質

準平原としての平坦面は、山々の山頂高度の連なりとしてその面影をとどめている。



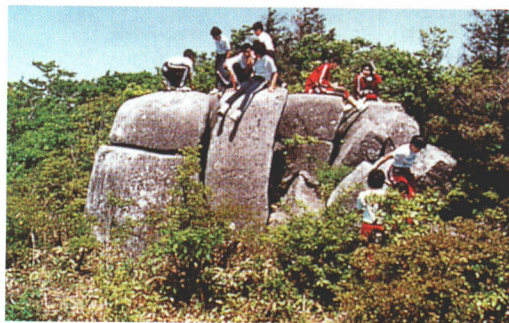
鎌倉岳 山頂まで谷が刻まれている。



龜子山 浸食の激しいふもとへ向けてどんどんくずれていったために食塩を盛ったような美しい形となった。

五十人石と山頂奇岩群

五十人山山頂には、「五十人石」と呼ばれる岩がある。この岩には、「平安京の昔、征夷大将軍坂上田村麻呂の家来50人が、この上で戦略を練った。」との言い伝えがあるが、現在とはとてもそのような大岩ではない。しかし、昔は大岩だった可能性はある。五十人石には、規則的な割れ目がある。この岩はカ



五十人石

写真ではみえないが右手下にはこらがある。カコウ岩特有の割れめが顕著（節理）、このようにして大岩は自然に砕かれてゆく。現在は50人も乗れないが、田村麻呂の家来が軍議をしたころはもっと広がったことであろう。